

# 令和4年度 第2回オホーツク地区女子審判研修会 2022. 8. 28 えんがる球技場 実技研修 高校選手権大会(2回戦)

■受講者 2名 ユース3級審判員(高校3年)、ユース4級審判員(高校3年)

副審1試合、第四審1試合

第四審1試合

■インストラクター 大石かおり

## ■受講者の感想

今回は副審と4thを1試合ずつ務めさせていただきました。4thは特に大きな問題もなく、全体的には良かったと思いますが、まだまだ細かい部分での気配りが足りていないと感じました。今後の活動を通して様々な経験を積み、どのような事態でも冷静に確実に対応出来るよう頑張ります。副審は男子の公式戦では初めての経験でした。80分ゲームということで、スピードとスタミナの部分で不安はありましたが、最後まで無事務めあげることが出来ました。細かいミスはありましたが、その場で気づき修正できた点は良かったと思います。今後も選手の納得のいくレフェリングを目指し、当たり前のことを全力で取り組んでいきます。最後に、私は柏陽高校のサッカー部に選手として所属していましたが、選手権や高体連は女子選手が出場出来ないため、一度も遠軽のピッチに立ったことがありませんでした。ですから今回、副審として選手と同じピッチに立てたことをとても嬉しく思います。有難うございました。(ユース3級審判員)

今回は、初めて高校生の試合で4審を担当させていただきました。課題であった選手交代時の対応やアディショナルタイムを表示する際の主審とのやり取りなども、前回担当させていただいた試合に比べ落ち着いて取り組めたと思います。自分の中の出来ることが増え今後の活動への自信にも繋がりました。苦手とするベンチコントロールは前回と同様に何度かご指摘いただきました。コートの中だけではなく外にも視野を広く持ち何事にも迅速に対応できるように今後とも頑張りたいと思います。主審、副審の方やその他の審判員の方ともコミュニケーションを取ることができとても充実した実りのある試合となりました。今回はこのような経験をさせて頂きありがとうございました。(ユース4級審判員)

## ■まとめ

実技研修の機会を提供していただき、女子審判員にアドバイス等暖かなご配慮をいただいた2種審判団の皆様、誠にありがとうございました。最初は第四の審判を公式戦で経験するところから始まり、各カテゴリーのたくさんのベテラン審判の方々からの暖かな雰囲気から審判に更なる魅力を感じることができた結果、自らの積極的な活動により全道大会などでも活躍するまでに成長した審判員もいます。

今後も様々な場を提供しながらレベルアップを目指していくと同時に、審判をやりたいという仲間を増やしていきたいと思います。興味がある方がいましたら、有資格者・無資格者問わず、ご連絡ください。

連絡先：審判委員会女子部会 大石 090-2693-7521

